

てっこうきでん

(一社)石川県鉄工機電協会
TEL (076)268-0121
URL <http://www.tekkokiden.or.jp>
題字／名誉会長 澁谷 弘利

『新しい働き方を目指す社会』と共に発展を

世界では、習体制のもと中国の存在感が大きくなる一方、トランプ政権の誕生により保護主義が台頭、これまで目指してきた自由貿易が大きく揺れ動く中、関係国の交渉努力により米国抜きでの TPP や日欧 EPA が署名に向けて大きく進展するなど、アジア太平洋地域を中心に自由な貿易・投資の今後に目が離せない状況になっています。

一方、日本経済は、政府によるデフレ脱却に向けた施策の効果と
 欧米や中国の景気回復等によって製造業の業績が順調に回復して
 おり、戦後第2位の「いざなぎ景気」を超えたともいわれておりま
 す。県内においても、新幹線開業効果によって、引き続き好調を維持しておりますが、県内のあらゆる業種において人手不足が顕著になっており、特にモノづくり企業にとっては、生産増強要望に対応できない状況になっております。

このような中、業界では、昨今の働き方改革の取り組みにも対応しつつ、人手不足解消に向けた自動化・省力化の工夫・改善に励むとともに、各社の有する技術の高度化と製品の高付加価値化に弛まぬ努力をしていかねばなりません。

当協会では、新年度も会員ニーズに即した人材育成や UI ターン人材の確保をはじめ、東南アジアや中国の海外ビジネス支援、医療介護機器など新分野進出や AI・IoT 等新技術への取り組み、「MEX 金沢」開催や「機械設備貸与」「金沢港利用促進（合積み等）」など会員が抱える諸問題解決のため関係各位との連携強化を図り、速やかに対応してまいります。

特に今年は、業界のもっとも大きな課題である『人材の育成・確保』支援と人手不足解消のための『ロボット導入等による自動化・省力化』の推進を図る事業を強化するとともに、2月に設立予定の『タイ・AEC地域の事業拡大』を支援する部会の活動を本格化し、会員企業の海外展開を支援してまいります。

本県経済をけん引する業界として、今後とも会員一同が一層切磋琢磨し、業界の更なる飛躍を目指して行く所存でありますので、引き続きの関係各位の皆様方のお力添えをお願い申し上げ、新年を迎えてのご挨拶といたします。



一般社団法人石川県鉄工機電協会
会長 菱沼捷二

【CONTENTS】

新年会長あいさつ	1	MOT先進工場見学会	5
平成29年度業界振興懇談会	2	新分野進出・環境委員会合同視察会	5
役員功労者表彰式	2	経営技術・新分野進出委員会合同視察会	5
第53回従業員功労者・永年勤続者表彰式	2	メディカルクリエーションふくしま2017	6
青年部会創立30周年記念講演・記念式典	3	東南アジアインフラ関連需要FS調査	6
協会トピックス		FBC広東2017ものづくり商談会 in 南海	6
METALEX VIETNAM 2017	3	DI調査結果	7
モノづくり人材育成対策事業	4	会員情報等	8
		講演会・セミナー開催	別紙

[illegible]

平成 29 年度業界振興懇談会

10月4日(水)、ホテル日航金沢において、谷本知事及び県商工労働部幹部の方々をお招きし、菱沼会長をはじめ協会の役員並びに各地域・業種の代表 65 名が一堂に会し、業界の振興について懇談しました。

菱沼会長より「いま業界では、働き方改革への対応を模索しつつ、生産性向上のため、人材の育成とともに自動化省力化設備の導入などに取り組む必要に迫られている。脇を引き締めて日々の事業に取り組んでまいりたい」との挨拶の後、引き続き、「来春の知事選に出馬する谷本知事へ推薦が決定したこと」が報告されました。続いて谷本知事より「鉄工機電協会の皆様が元気になれば、石川の元気はない。県として積極的に各種の施策に取り組んでまいりたい。」とのご挨拶を頂戴しました。

なお、懇談会に先立ち、(株)北國銀行代表取締役専務 前田純一 氏より「最近の金融経済情勢について」と題してご講演いただきました。



役員功労者表彰式、第 53 回従業員功労者・永年勤続者表彰式

11月22日(水)、石川県地場産業振興センターにおいて、「役員功労者表彰式、並びに第 53 回従業員功労者・永年勤続者表彰式」を開催いたしました。

今回は、協会創立 55 周年を記念して、永年役員として功績のあった菱沼会長を始め 7 名の方々に、谷本知事より知事表彰状が授与されました。

【役員功労者表彰受賞者】

会 長	菱沼 捷二	津田駒工業(株)会長
副 会 長	北村 哲志	ホクショー(株)会長
常任理事	伊藤 勝信	タケダ機械(株)顧問
	高林 健一	(株)高林製作所会長
	塚本 幹雄	コマニー(株)社長
	疋田 正一	疋田産業(株)会長
	山本 洋志	アサヒ装設(株)社長



引き続き、従業員功労者 7 名、勤続 30 年表彰者 42 名、勤続 20 年表彰者 72 名、勤続 10 年表彰者 144 名、計 267 名の方々に表彰状と記念品が授与されました。

菱沼会長は式辞で、「これからの業界を背負って立つ後進の指導を強くお願いしたい」と励ましの言葉があり、来賓を代表して、米澤県議会議長、金沢市長代理の細田副市長からご祝辞をいただきました。

また、受賞者を代表して、(株)板尾鉄工所の坂井俊昭さんが「モノづくり業界の繁栄と石川県の振興・発展に貢献できるよう全力を尽くしたい」と謝辞を述べられました。

なお、表彰式に先立ち、記念講演会を行い、金沢学院大学人間健康学部スポーツ健康学研究科の平下政美教授に「働きざかりのトータルコンディショニング」と題して、これからも公私ともに活躍できるように、それぞれの年代での健康維持のポイントをわかりやすくご講話いただきました。

青年部会創立30周年記念講演・記念式典

11月10日(金)、金沢東急ホテルにおいて、青年部会の創立30周年記念講演・記念式典を開催しました。

記念式典には、谷本県知事、山野金沢市長をはじめ、多くの来賓の方々にご臨席賜りました。卒業会員にもたくさんご参加いただき、現役会員含め総勢140名にて盛大に挙行されました。

また、功労者表彰として歴代代表幹事を務められた10名の方々に記念品を贈呈させていただきました。



記念式典前に行われた記念講演では、(株)吉原精工(神奈川県綾瀬市)の吉原 博会長に「社員7人の町工場、残業ゼロで年収600万円超〜そこに至ったユニーク経営とは〜」と題しご講演いただきました。いち早く働き方改革を実践し、「残業ゼロで年収600万円超え」の経営手法を確立したご自身の体験を交え、自社の競争力強化や社員のワークライフバランス向上などについてご講話いただきました。

青年部会は昭和52年に15名の石川県技術推進工場の後継者・有志により、親会支援のもと活動が始まり、昭和62年に正式に発足されました。その30年の歩みは長く、海外視察研修や最先端技術の視察、講演会等勉強会、最近では他府県の青年部会との交流を深め、合同研修会を開催してきました。

これからも、時代を担う経営者として、清く、正しく、使命に忠実に、不断の努力を続けていく所存です。青年部会が元気であることは、石川の鉄工業界がより一層発展していくと考えており、代々引き継がれてきた「よく遊び、良く学べ」をモットーに互いに研鑽しあい努力していきます。

今後、40、50周年と更なる飛躍をするために皆様のご指導、ご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

協会トピックス

METALEX VIETNAM2017 (ベトナム・ホーチミン)

開催期間：平成29年10月12日(木)～14日(土)

ベトナム・ホーチミン(会場：Saigon Exhibition & Convention Center)で開催された「METALEX VIETNAM2017」に出展しました。今回は500社(日本から51社)が出展し、来場者は12,565名でした。

今回で3回目の出展となりますが、協会ブースには会員企業5社(澁谷工業(株)、津田駒工業(株)、東亜電機工業(株)、(株)徳野製作所、松本機械工業(株))が出展し、来訪した106社と今後に関わる有意義な商談が行われました。



モノづくり人材育成対策事業

★ 工業系高校教員&モノづくり企業との懇談会

開催日：平成 29 年 12 月 7 日(木)

会 場：石川ハイテク交流センター

参加者：モノづくり企業 50 名、高校 22 名（校長 3 名、教頭 3 名、教員 16 名）

石川県内の工業系高校教員とモノづくり企業との懇談会を開催しました。工業部会事務局より「進路・就職内定状況について」報告後、2 班に分かれ「企業と工業系高校との今後の連携について」などのテーマで意見交換を行いました。

意見交換では、学校側からは「最近では地元での就職を希望する生徒が多い。高校生は親や教員の意見によって就職先を選ぶなどの傾向がある。」等の話があり、また、「求人にあたり企業を生徒に知ってもらうためにどのように発信すると効果的か」という企業からの問いに対し、「生徒だけではなく保護者に企業を知ってもらうことが必要ではないか、求人票に社内報など写真などもいっしょに送っていただければ会社の雰囲気はわかって良いのではないか。」などの意見がありました。

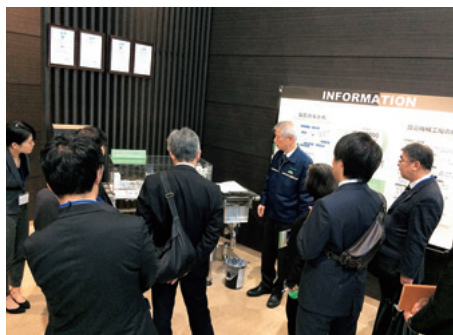
協会で四半期ごとに実施している DI 調査の経営上の悩みでも「人材不足」が顕著となっており、今回の懇談会も定員 30 社に対して 50 社の企業の方々にご参加いただきました。今後もこのような活動を通して人材の確保に繋がりたいと考えております。



★ 高校教員工場見学会

工業系の高校だけでなく、普通科・総合学科など公立・私立全ての県内高校の進路指導教員に地元のモノづくり企業を周知してもらうため、石川県教育委員会との共催で、3 地区（加賀・金沢・能登）で工場見学会を開催しました。

昨年度に引き続き開催されたもので、工場を見学した教員から「県外大学に進学した生徒が県内に戻る際のアドバイスの一つになる」、「生徒の職業観を育てる指導に非常に参考になるものだった」などの感想が寄せられました。



月 日	地区/人数	見 学 先
11 月 30 日(木)	加賀/20 名	(株)ソディック加賀事業所
12 月 1 日(金)	能登/21 名	(株)白山石川工場
12 月 5 日(月)	金沢/34 名	高松機械工業(株)

★ 中学生出張講話

開催日：平成 29 年 12 月 4 日(月)

場 所：白山市立松任中学校

講 師：(株)北都鉄工生産本部技術部 桑山友梨氏

中学生の頃からモノづくり企業に興味を持ってもらうことを目的に、昨年度から実施している中学一年生を対象とした職業講話を開催しました。講師には、中学校側からの希望により今年度も(株)北都鉄工の桑山さんをお願いしました。

桑山さんは、モノづくりの楽しさややりがいなど生徒に語りかけ、生徒からの「いつからこの仕事を目指しましたか?」、「仕事を始めて一番驚いたことは何ですか?」などの質問に、丁寧に答えておられました。



MOT先進工場見学会（長野県）

開催日：平成29年10月2日(月)～3日(火)

視察先：東洋精機工業(株)、

(株)ハーモニック・ドライブ・システムズ

参加者：24名

東洋精機工業(株)は「まごころをつくり、まごころを売れ」をスローガンに、お客様の多様なニーズに短い納期に対応しており、マシンのセットアップ、ワンメイクでの製品開発力で全く同じ機械が無いと言っても過言ではなく、納品の際は三次元測定器での証明書を添付し、搬送・組立・検品の一貫体制をとっています。

昨年から産業用ロボットの生産が非常に増加しており、(株)ハーモニック・ドライブ・システムズは、ロボットの関節部門には不可欠な減速機製造で世界シェアの50%を占めています。生産ラインでの工程毎の品質管理や検査体制において、歯車の熟練作業員の最終部品摺り合わせ作業は、品質保持の重要な部分であり、加えて熟練工の育成には当社独自のノウハウがあると感じました。



新分野進出・環境委員会合同視察会

開催日：平成29年10月16日(月)

訪問先：(株)アクトリー太陽光発電研究所

参加者：37名

(株)アクトリー太陽光発電研究所は、太陽の動きを自動で追尾して、熱と光を効率的に回収する太陽光発電装置を開発し、集めた高温水（熱）を冷暖房に利用する実験を行なっていました。

装置はGPS（衛星利用測位システム）を付けたパラボラ（放物線）型の反射鏡で太陽エネルギーを取り込み、エネルギーのうち25%を電気、40%を熱として回収するもので、太陽光の発電と熱回収を両立したシステムの開発は世界初とのことです。

参加者全員が、この先進のシステムについて大変興味深く視察を行いました。



経営技術・新分野進出委員会合同視察会（新潟県）

開催日：平成29年10月23日(月)～24日(火)

視察先：(株)南雲製作所、フジイコーポレーション(株)、(株)田中衡機工業所

参加者：15名

自動車関係の金型製造の(株)南雲製作所は、材料調達からほとんどを内製化するとともに、トヨタ生産方式を採用して生産工程の徹底管理により過去にない売上・利益を実現されています。工場内は壁がなく、製造部門の横に総務以外の営業、生産計画、調達部門がセットで配置されていました。

除雪機、草刈り機、高所作業車を製造しているフジイコーポレーション(株)は、工場内の材料置き場は1.4m以下との高さ制限により、全ての従業員が見渡せる生産現場では床には物を置かないことを徹底し、材料はキャスター付の台車ケージに保管するなど様々な工夫をされていました。

(株)田中衡機工業所は創業から110年以上、分銅やトラックスケールなど工業用計量器（はかり、スケール）を製造しており、納入先も航空会社、製薬メーカーから畜産・農業分野まで多岐に亘ります。はかりには「機械式」「電子式」がありますが、「機械式」はかりは独占しているとのことでした。

今回の視察で「生産計画」の大切さや「生産現場の改善」の徹底に触れたことで、まだまだ、中小企業で取り組めることがあり、個々の企業努力の余地があるように感じました。



メディカルクリエーションふくしま 2017

開催期間：平成 29 年 10 月 25 日(水)～ 26 日(木)

海外を含め計 227 社・団体が出展し、入場者 3,820 名を数えた福島県郡山市で開催された「第 13 回メディカルクリエーションふくしま 2017」に医療・介護支援関連機器の会員 4 社が 6 回目の出展を行いました。

オリエンタルチエン工業(株)は「金属射出成形部品 MIM」、中村留精密工業(株)は「人口股関節等」の医療系機械加工サンプル、(株)本螺子製作所は「精密（微細）切削加工部品」、ライオンパワー(株)は血液検査標本作成装置（染色・遠心塗抹装置）」を展示しました。会期中、各社のブースに 142 社が来訪し、熱心な商談を行い、今後の具体的な取引への展開が期待されます。



東南アジアインフラ関連需要 FS 調査（JAPAN ブランド育成支援事業）

成長市場として期待される東南アジアにおいて、マレーシア、ベトナム、ミャンマーという市場成熟度が異なる 3 か国を対象に、急拡大を続けるインフラ関連市場の需要動向の確認と効果的な販路開拓のため、企業訪問や展示会見学、関係機関との懇談などで FS 調査を行いました。

クアラルンプールは、鉄道建設のメンテナンス需要に対して市場参入が可能であり、ホーチミンは、各種プラント建設のメンテナンス需要を精査することで、ビジネスに繋がられるのではないかとのことですが、ヤンゴンには、インフラ関連の需要はあるものの、進まないという現実から市場参入は厳しいと感じました。



日 程	訪問国	参加企業
平成 29 年 10 月 22 日(日) ～ 10 月 26 日(木)	マレーシア（クアラルンプール）	(株)アルパイン設計事務所 (株)北菱
平成 29 年 10 月 25 日(水) ～ 10 月 29 日(日)	ミャンマー（ヤンゴン）	(株)アルパイン設計事務所 タケダ機械(株)、玉田工業(株)
平成 29 年 11 月 6 日(月) ～ 11 月 10 日(金)	ベトナム（ホーチミン）	玉田工業(株) (株)北菱

FBC 広東 2017 ものづくり商談会 in 南海（中国・広東省佛山市）

開催日：平成 29 年 11 月 15 日(水)～ 16 日(木)

中国華南地区 珠江デルタにある広東省佛山市南海区（会場：インターコンチネンタルホテル）で開催された「FBC 広東 2017 ものづくり商談会 in 南海」に初めて参加しました。

この商談会は昨年に続き 2 回目の開催で、中国系・日系企業をメインに 182 社が出展し、来場者は 2,207 名を数え、全体で約 4,760 件の商談が行われました。

会員企業等 5 社（石川可鍛製鉄(株)、京町産業車輛(株)、(株)タガミ・イーエクス、東亜電機工業(株)、(株)肥田電器）と協会がブースを設け、160 社が来訪し、熱心な商談が行われました。



DI調査結果（平成29年10－12月期）

概況総括：『好調を持続しているが、人手不足が更に深刻化している』

【調査概要】

1. 今期（平成29年10-12月期）の業況調査DI12項目では、プラスDIは、「売上高」45.1（前回32.3）、「受注単価販売価格」5.6（前回3.5）、「収益状況」19.2（前回10.3）、「資金繰り」12.3（前回8.5）、「取引条件」3.2（前回0.0）、「操業率」34.3（前回23.6）、「受注残」11.5（前回8.7）、「生産設備」27.3（前回21.3）、「来期受注」23.1（前回20.0）、「来期採算」10.5（前回6.2）、「来期資金繰り」10.1（前回6.3）の11項目（前回10項目）となった。

2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、

(1) 景況感を端的に表す「売上高」は45.1（前回32.3）と更に増加し、また、その他のプラス項目すべてが前回数値より上昇しており、リーマンショック前の平成18年7-9月期以来の高水準となっている。

一方、「原材料単価」は▲57.0（前回▲44.4）と上昇している。

(2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」34.3（前回23.6）、「受注残」11.5（前回8.7）、「生産設備」27.3（前回21.3）と3項目全てが上昇しており、残業等での対応が増えている。引き続き人員確保が急務であり、ロボット等による生産設備の自動化・省力化対策が求められる。

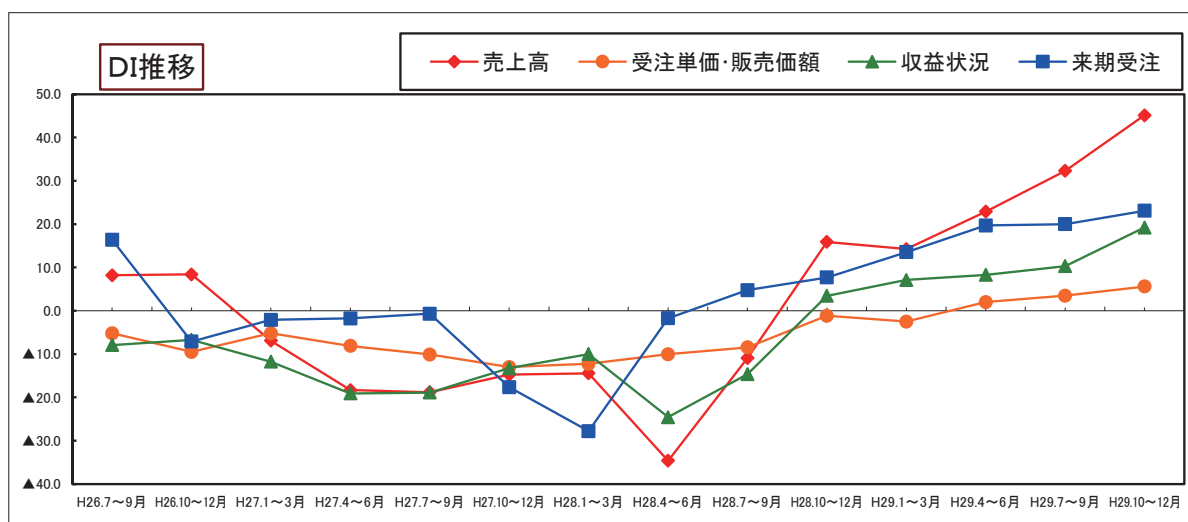
3. 来期については、「来期受注」23.1（前回20.0）、「来期採算」10.5（前回6.2）、「来期資金繰り」10.1（前回6.3）と3項目とも上昇しており、引き続きの好調さが伺える。

4. 「企業経営上の悩み」については、今年に入り一番の悩みとなった「人材不足」が51.2（前回46.2）と半数以上の企業が答えており、人手不足が更に深刻化している。

5. 今回の調査では、全ての項目が上昇しており、好調を持続している。工作機械や荷役運搬機械、半導体関連装置等をはじめとして、ほとんどの業種が順調に推移している。

しかしながら、人手不足が更に深刻化しており、現人員の育成を図るとともに、女性や高齢者、外国人実習生等の人手確保やロボット等の自動化・省力化設備の導入などが喫緊の課題となっており、企業業績に影響を及ぼしかねない状況となっている。

来期については、北朝鮮情勢をめぐる経済動向に留意する必要があるが、先行きは明るい傾向にあり、好調を持続すると考えられる。



◆中村副会長が旭日中綬章を受章

平成29年秋の叙勲で当協会副会長の中村健一氏（中村留精密工業(株)代表取締役社長）が、旭日中綬章を受章されました。

中村氏は、永年に亘り工作機械製造業に精励されるとともに、（一社）日本工作機械工業会会長等の要職を歴任し、業界の振興発展に貢献されました。

◆「地域未来牽引企業」に会員23社が選定されました

経済産業省は、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の経済成長を力強く牽引する事業に取り組む地域の中核企業として「地域未来牽引企業」を選定し、会員23社が選ばれました。

〈選定企業名〉

(株)明石合銅、(株)アクトリー、(株)石野製作所、(株)江沼チエン製作所、オリエンタルチエン工業(株)、かがつう(株)、共和産業(株)、(株)小林製作所、小松鋼機(株)、コマニー(株)、高松機械工業(株)、(株)タガミ・イーエクス、谷田合金(株)、玉田工業(株)、(株)月星製作所、(株)東振精機、中村留精密工業(株)、(株)白山機工、(株)BBS金明、疋田産業(株)、(株)別川製作所、ホクショー(株)、北菱電興(株)

i 会員情報

平成29年12月15日までにお寄せいただいた内容を掲載しています。

◆社名の変更

新社名	旧社名
合同会社LNS ジャパン	(株)LNS ジャパン

◆代表者の変更

社名	新代表者名
(株)小幡製作所	小幡正明

◆住所変更

社名	新住所	TEL/FAX
NECソリューションイノベータ(株)北陸支社	金沢市本町1-5-2	076-232-5646/076-232-5647

平成29年度 研修スケジュール(予定)のご案内

〇きでんスクール

No	開催日	テーマ	定員
1	1月19日(金)	ムダの発掘と改善	30
2	2月16日(金)	ヒューマンエラーとボカミス対策	30
3	3月16日(金)	ネクストリーダー研修	30

ホームページでもご覧いただけます。URL : <http://www.tekkokiden.or.jp>

平成29年度 協会スケジュール(予定)

開催日	内 容
会 議	
1月10日(水)	総務・事業企画合同委員会
1月25日(水)	正副会長会議、理事会
2月7日(水)	新分野進出委員会
2月13日(火)	見本市委員会
3月2日(金)	広報・情報委員会
3月9日(金)	環境委員会
行 事	
1月17日(水)	石川県知事及び金沢市長へ平成30年度予算要望
1月25日(水)	平成30年新年会員懇親会
2月1日(水)～4日(日)	Thailand Industrial Fair 2018出展
2月3日(土)～9日(金)	海外経済視察(タイ・バンコク、マレーシア・クアラルンプール)
2月5日(月)	タイ・AECビジネス促進部会発足会等(タイ・バンコク)
2月7日(水)	自動車講演会(講師:経済産業省課長補佐 羽原健雄氏)
2月15日(水)	工業系高校優良卒業生表彰式
3月9日(金)	環境講演会(講師:日本総研シニアマネージャー 井上岳一氏)